

生命（いのち）の安全教育 周南総合支援学校 小学部

授業概要

授業名	犯罪被害の防止
学習形態	小学部各学級での学習
指導者	学級担任
内容	文部科学省の示す小学校高学年の指導内容に準じて、距離感が守れないとき取るべき行動を理解し、自分の生活に合った身の守り方を学習する。

教材等の概要

使用教材	公園のイラスト、自宅付近の拡大地図
準備物	公園のイラスト、自宅付近の拡大地図
留意事項等	<ul style="list-style-type: none">・心身症、社交不安症、自閉スペクトラム症のある児童は社会経験が少なく新しい場面で対応に困りやすく、他者依存や判断力不足から自分の身を守る意識が育ちにくい点に配慮して指導する。・児童が犯罪被害の起きやすい場所や状況を理解し、自分にできる対策を考えながら防犯マップを作成し、安全な場所や危険な場所を適切に判断して実生活で行動できる力を育てる。

生命（いのち）の安全教育 授業の展開

教科・領域等	保健体育科（保健）	学部・学年	小学部・5年
授業名	犯罪被害の防止		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪被害が起きやすい場所や状況について考えることができる。 ・不審者に遭遇したときの対応や住んでいる地域の安全について、自分の意見を持ち、実生活に生かそうとする。 		
学習活動		指導上の留意点等	
<ul style="list-style-type: none"> ● 犯罪について知っていることを発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・小学生の身に起きうる犯罪について。 		<ul style="list-style-type: none"> ➤ 教科書の資料から小学生が実際に犯罪に巻き込まれたことがあることを伝え、自分ごととして学習課題を捉えられるようにする。 	
<ul style="list-style-type: none"> ● 犯罪が起きやすい場所や状況を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・周りから見えにくい場所はどこか。 ・簡単に出入りできる場所はどこか。 ・暗いところはどこか。 ・一人でいるときに危険な場所はどこか。 ● 犯罪から身を守るためにできる対策を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・安全な場所(交番・店・子ども110番の家等)はどこか。 ・見守りボランティアや地域でよく知っている人の存在について。 		<ul style="list-style-type: none"> ➤ 2種類の公園のイラストを提示することで、安全な場所や状況と危険な場所や状況を比較しながら考えられるようにする。 ➤ 危険だと思える理由や根拠も具体的に問うことで、他の場所や状況においても適切な判断ができるようにする。 ➤ 犯罪が起きやすい場所や状況を避けるための具体的な行動に置き換えることができるような声かけをする。 ➤ 本児にとって身近ではない見守りボランティアや子ども110番の家については、動画教材を活用することで理解を深められるようにする。 	
<ul style="list-style-type: none"> ● 防犯マップを作る。 <ul style="list-style-type: none"> ・自宅近くの安全、危険な場所はどこか。 ・実生活での注意点は何か。 		<ul style="list-style-type: none"> ➤ 危険な場所は理由も含めて書き込むことができるよう問いかけることで、地域での実生活で適切な行動に移せるようにする。 ➤ 危険な場所だけでなく安全な場所も記せるよう問いかけることで、地域で安全を守る役割をしてくれる人や施設があることに気付けるようにする。 	